

# かながわあんしん生活支援フォーラム

## ～ 孤独死ゼロをめざして～

入場無料

我が国では急速に高齢化が進み、一人暮らしの高齢者の方が急増しています。こうした中、高齢者が孤立し、誰にも看取られることなくお亡くなりになる、いわゆる「孤独死」が社会問題となっています。

また、昨年夏には、全国的に所在不明高齢者問題が発生し、家族や地域とのつながりの希薄化が指摘されたところ です。

そこで、県では、一人暮らしの高齢者等の方が安心して暮らせるため、県営3団地を対象とした「孤独死」に関する調査を実施しました。

本フォーラムでは、その調査概要の報告や見守り等の先進事例の紹介とともに意見交換を行い、孤独死防止に向けた取組みについて、参加者の皆様と一緒に考えていきたいと思 います。

日時 平成23年2月16日(水)  
13時30分～15時45分(13時開場)

場所 神奈川県職員キャリア開発支援センター  
1階 研修ホール

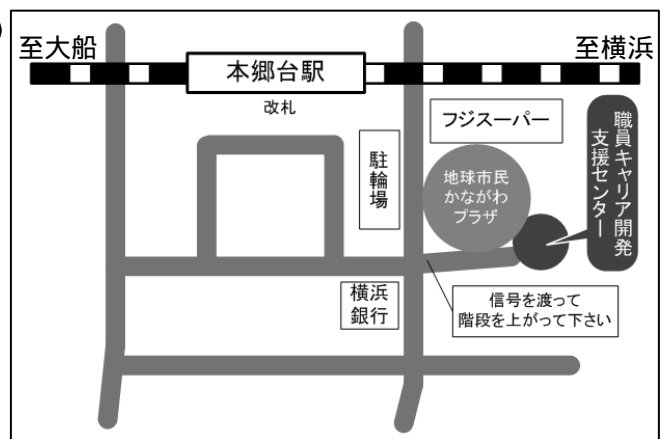
住所：横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1  
交通：JR京浜東北線・根岸線 本郷台駅徒歩3分  
会場までは公共交通機関でご来場ください。

定員 180名(事前申込不要)

主催 神奈川県

内容

会場案内図



### 第1部 県営3団地孤独死防止対策調査概要報告

### 第2部 基調講演「孤独死ゼロをめざして」

講演者

小野 敏明 田園調布学園大学人間福祉学部社会福祉学科教授

### 第3部 パネルディスカッション「孤独死防止に向けた地域での取組みについて」

コーディネーター

小野 敏明 田園調布学園大学人間福祉学部社会福祉学科教授

パネリスト(50音順)

岡 雄一 (独)都市再生機構神奈川地域支社住まいサポート業務部長

鈴木 恵子 ボランティアグループすずの会代表

中沢 卓実 千葉県松戸市 常盤平団地自治会会長

司会進行

原 良枝 フリーアナウンサー・関東学院大学非常勤講師

【問い合わせ先】

神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部高齢福祉課 電話 045-210-4846

# かながわあんしん生活支援フォーラム～孤独死ゼロをめざして～ 出演者プロフィール

## コーディネーター

田園調布学園大学人間福祉学部社会福祉学科教授 おの としあき  
小野 敏明

日本社会事業大学大学院非常勤講師、日本地域福祉研究所研究員・副理事長。  
専攻分野は、地域福祉、コミュニティワーク、コミュニティソーシャルワーク。  
地域福祉の理論と方法、社会福祉援助技術論などを講義している。  
相模原市地域福祉計画推進会議会長、川崎市地域福祉計画推進検討会議委員長、大和市社会福祉審議会会長ほか多数の行政委員に就任。  
著書に「地域福祉計画策定の視点と実践」(第一法規出版)などがある。  
本年度、神奈川県が実施する孤独死防止対策事業では、県営3団地に設置した高齢者安心生活支援調査検討協議会の座長を務めている。

## パネリスト

独立行政法人都市再生機構神奈川地域支社住まいサポート業務部長 おか ゆういち  
岡 雄一

神奈川県住宅政策懇話会及び高齢者居住安定確保分科会委員。  
都市再生機構(U R)神奈川地域支社住まいサポート業務部では、平成22年3月末現在で、神奈川県内に211団地74,823戸のUR賃貸住宅を管理。  
URでは、公田町団地(横浜市栄区)において、平成21年2月に国交省、厚労省のモデル事業として、安心住空間創出協議会をNPO法人お互いさまネット公田町団地、横浜市栄区、同市健康福祉局とともに設立。団地内の空き店舗を多目的拠点「いこい」としてNPO法人に貸し出すとともに、住戸に設置したセンサーを使った安否確認システムを試験的に導入した。  
URの団地では全国初の実証実験で、結果を見極めて今後の展開も検討している試みである。

ボランティアグループすずの会代表 すずき けいこ  
鈴木 恵子

平成7年9月、10年間にわたる介護の経験をもとに、小学校のPTA仲間と在宅介護支援のボランティアグループ「すずの会」を設立。  
若年認知症の妻を介護する男性が訪ねてきたことがきっかけとなって、野川老人いこいの家(川崎市宮前区)を拠点として、ミニデイサービス「リングリングクラブ」を月2回開催している。  
このデイサービスには、家族も一緒に参加することができ、男性介護者や子育て中の母親も参加している。  
また、地域の中で孤立しがちな高齢者や障がい者、子育て中の母親が気軽にお付き合いできる場として、ご近所単位での集い「ダイヤモンドクラブ」の開催にも取り組んでいる。

千葉県松戸市 常盤平団地自治会会長 なかざわ たくみ  
中沢 卓実

産経新聞に入社。週刊サンケイ編集部を経て昭和59年から23年7ヶ月、タウン誌『月刊myふなばし』編集長。この間、松戸市の常盤平団地自治会会長を通算26年、松戸市社会福祉協議会理事13年、松戸市健康福祉推進会議委員などを歴任。15年前に常盤平団地地区社会福祉協議会を立ち上げ、9年前から本格的に「孤独死の課題」に挑む。平成16年に団地社協社内に「まつど孤独死予防センター」を設立。平成22年にNPO法人孤独死ゼロ研究会を設立。平成19年に団地内の店舗を借りて「いきいきサロン」を開設して現在に至る。同自治会が平成22年1月12日、「地域づくり」総務大臣表彰を受賞。  
自治会長の心得「目配り」「気配り」「思いやり」。著書に『孤独死ゼロ作戦』(本の泉社刊)など。